

事業所名

乳幼児親子教室（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

31日

法人（事業所）理念		子どもの主体性を大切にした療育、子どもを真ん中にして保護者と職員がともに学び合い、子ども達が地域の中で健やかに育つことを大切にしています		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・遊びと生活を基本に子どもの主体性を大切に、一人一人の子どもに寄り添い発達を支援する ・4つの保育目標「自分からすすんで遊ぶ子」「友達と一緒にいる楽しさが分かる子」「人と気持ちが共感できる子」「生活リズムを確立して健康な子」 ・ひとりぼっちで悩む保護者を少なくする ・子どもを真ん中にして保護者と保育者が協力して療育を進めていく ・地域の中で子ども達が健やかに育つよう地域の関係機関と連携していく 		
営業時間		平日 9:15～17:00 土曜日 9:00～15:00	送迎実施の有無	あり なし
サービス提供時間		平日 9:30～14:30 土曜日 9:00～13:30	対象年齢	3歳～5歳
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活リズムを身につける ・生活習慣の自立を促す（食事、排泄、着脱） ・1日の生活の流れの見通しを持って行動する（朝の支度、朝の会前の片付け、食事の準備、帰りの支度など） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の遊具などで遊ぶ中で身体の使い方を知っていく ・粘土やのり、泥遊びなど色々な素材に触れる中で感触に慣れ、楽しめるように支援する ・ハサミやスプーンなど道具を使うことを知っていく 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物の用途に気が付けるようになる ・遊びのイメージを持てるようになる ・一日の生活の流れの見通しを持って行動する（片付け・朝の会・公園・食事の準備片付けなど） 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や概念の理解を深める（言語聴覚士による個別指導） ・発語や発声、サインを持って表現していけるようになる ・コミュニケーション方法の幅が広がる 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者との信頼関係を築く ・友達への関心が高まる ・集団ルールを知り、理解できるようになる 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を行い、家庭での様子を聞く ・悩みや相談に対して助言をする ・保護者会や交流会で保護者同士が語り合える場を作る 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就園・就学の際に、申し送り書などを作成し、情報共有をしていく
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保健相談所と情報共有を行う（業務連絡会、言葉のまとめ） ・地域の公園で遊び、地域の人と交流する ・「おやこまつり」を開催し、近所の人に教室の事を知ってもらう 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法人や事業所で研修を行い、知識を深めていく ・外部研修への参加を呼びかけ職員の専門性を高めていく ・ガイドライン、第三者評価などで評価、改善を行っていく
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動（親子参加にすることで、保護者に子どもの様子を見てもらい知ってもらう機会にしている） ・防災訓練（地震や火事に備えた訓練を行う、保護者の引き取り訓練を行う事で緊急連絡の実施訓練を行っている） ・季節の行事を楽しむ（季節の制作、クリスマス会、始業式、修了式など） 		